

実施報告

実施日

2021年9月17日(金) 午前の部

参加校

107人の児童の皆さんに参加いただきました!

【秋田県】井川町立井川義務教育学校	6年生	31人
【栃木県】下野市立吉田東小学校	6年生	16人
【東京都】台東区立平成小学校	5年生	29人
【愛知県】名古屋市立滝川小学校	6年生	31人



アンケートより

学んだこと

- ・番組を見る上で、意図を読み取って見るが必要だと思った
- ・受け手と送り手どちらの立場になったときでも、気をつけなければならないことや、みんなとらえ方がちがって、同じ考え方もあれば、ちがう考えもあるんだなと思った
- ・今まで、情報を受けとるとき、本当かどうか考えていましたが、自分が情報を広めるときも、気を付けることが大切だなと思いました

参加した感想

- ・自分が発表したときもきんちょうせず、めっちゃ楽しんでました!
- ・ほかの学校と勉強することで、いろんな考えがでてくるからいいと思った
- ・これからのテレビの見方が変わりそう

これから生かそうと思うこと

- ・(画像を)加工しないときとするときをよく考えてこれから生かしたい
- ・ぼくはユーチューバーになりたいので、送り手になるので加工とアップやルーズに気をつけたい
- ・その情報だけがすべてだと思わないようにしたり、いろいろな見方を考えたりすることを、これから生かしたいです
- ・これからは、自分たちがメディア・リテラシーを知らない人に伝えなければならないと感じました

参加校の先生より

- ・最後には楽しかった! 一生の思い出になったという声が聞かれ、担任である私も嬉しい気持ちになりました。トピックも子どもが関心を持つ内容で、他校の発言を聞いて、あー! と納得する姿が多くみられ、このような場でなければ得ることのできなかつたものを得た姿が見られました。
- ・事前学習でグループになってせりふに合った画像を選択する際、選んだ理由や根拠を示す必要もあり、多様な意見が出てきて活発な話し合いが行われました。折り合いを付け一つに決定していくことは、これからも必要とされる能力だと思います。
- ・今回は、9月の実施ということで、夏休み明け時間がないことから、事前授業等の時間をとるのが、大変難しい部分がありました。



実施報告

実施日

2021年9月17日(金) 午後の部

参加校

96人の児童の皆さんに参加いただきました!

【福島県】猪苗代町立猪苗代小学校	6年生	41人
【東京都】台東区立平成小学校	6年生	25人
【京都府】京都市立京極小学校	5年生	30人



アンケートより

学んだこと

- ・ けっこういろんなところで(画像)加工は使われているんだなと思いました
- ・ (情報を)いろんな角度から見るのが大切ということが分かった
- ・ 同じ写真でもアップやルーズで印象が変わるのが分かった
- ・ 人によっていろんな見方をすることが分かりました

参加した感想

- ・ 色々な人と交流したり、自分たちとちがう意見があって面白かった
- ・ (つなげるほかの学校が)ちがう学年でキンチョウはしたけど、いろんなことを学んだから、楽しくなってきました
- ・ ほかの学校の意見を聞いて「なるほど!」「すごい!」って思った

これから生かそうと思うこと

- ・ 写真・動画についていわかんを感じたら、加工をうたがう
- ・ (メディアの情報は)すべて公平にあつかわれたり、素のものが使われているわけではないということを考えながら見ようと思いました
- ・ 送り手になったとき、受け手にかんちがいされないようにしたいと思った
- ・ 受け手が見たときに感じることなどを考えながら発信していきたい
- ・ 加工をしていいか、一度立ちどまって考えることを生かそうと思いました

参加校の先生より

- ・ 人前で発表することが得意ではない児童もいる学級ですが、事前に準備できる役割(学校紹介やセリフよみ、理由発表)があることで、挑戦してみようかなと挑むことができました。また、他学校の児童が生き生きと発表するようすを見て、私も!私も!と手が拳がったのも担任としては嬉しかったです。
- ・ 3校とも同じ事前課題を取り組んだことで、自分たちの考えと比べながら他の学校の意見を聞くことができました。また、課題が分かりやすく適切なものだったので、クラスの中でもたくさん意見が出てきて盛り上がりました。
- ・ 子どもたちにとって活字で読んだり人から聞いたりするのではなく、自分達で考え、感じながら情報のとらえ方、発信の仕方、情報との付き合い方を学ぶことのできる授業となっていたと感じました。今後、今回学習した「情報の発信」「情報の受信」の際、顔は見えなくとも相手がいるのだと言うことを常に意識しながら情報と向き合っていく大切さをさらに子どもたちと学習していきたいと思ひます。



進行役・近藤泰郎アナウンサーより (午前・午後の部を通して)

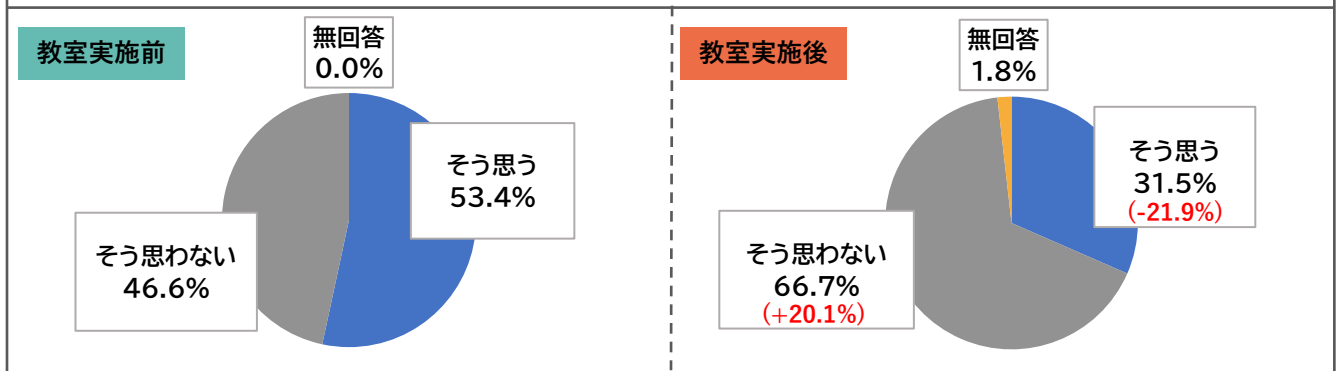
「メディア・リテラシー」という、ちょっと難しそうなテーマにもかかわらず、子どもたちは自分たちの身近な問題として捉え、理解し、考えを巡らせる。そして、自分の意見や考えをクラスの友だちと、他の学校の子もたちと発表し合い、違いを知り、また学ぶ。はじめは緊張していた子どもたちが、最後には「僕も!」「私も!」と前に出てきて発表する姿がとても印象に残っています。今回も密度の濃い、刺激的な100分間でした!



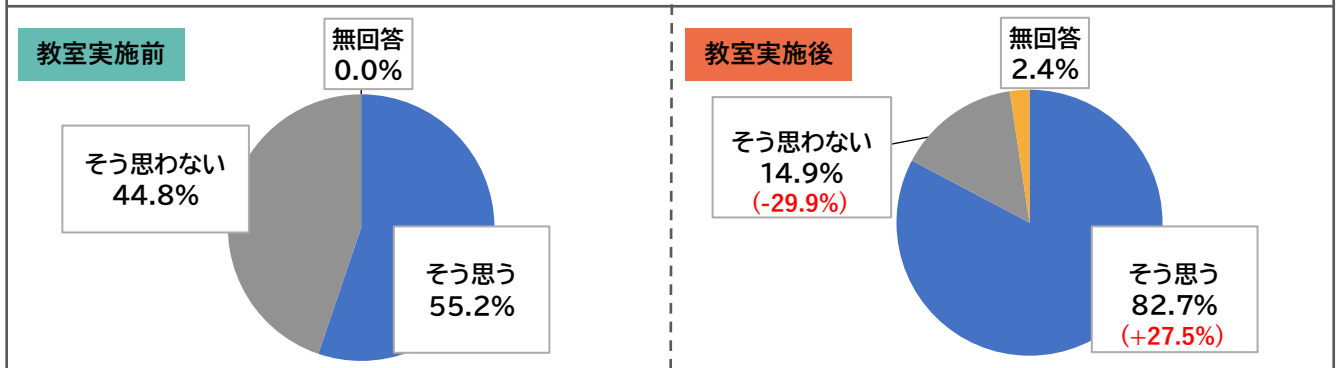
参加児童へのアンケート結果

(赤字は教室実施前との増減)

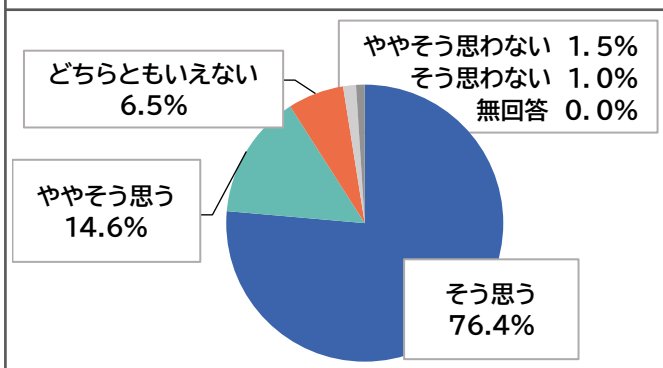
テレビ番組や動画コンテンツなどでインタビュー映像が使われる時は、かたよった印象を与えないように賛成意見と反対意見が同じ数だけ紹介されている。



観光パンフレットの写真は加工されている場合がある。



「つながる! NHKメディア・リテラシー教室」に参加してみて、楽しかったですか。



他の学校と一緒に取り組むことで、色々な考えにふれることができましたか。

